

2022年5月22日(日)
SUPER FORMULA 第4戦 決勝
オートポリス

決勝結果

#64 : 14位
#65 : リタイア

決勝概要

- ・序盤からセーフティカーが相次ぎ荒れた決勝レース
- ・21番グリッドからスタートを切った大湯は、スタート直後の3コーナーでコースアウトしリタイア
- ・20番グリッドスタートの山本は、スタート後の接触でフロントノーズを破損しピットイン
- ・少しずつ順位を回復していくも14位フィニッシュ

コメント

総監督：中嶋 悟

「ドライバーには悪いですが、厳しいレースが続いてしまっています。次の菅生までにあらためてもう一度洗い直して、気持ちを切り替えて臨みたいと思います。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

#64：山本 尚貴

「オートポリス大会は、終始苦戦して抜け出せず、つらいレースになってしまいました。決勝では、スタートはいつも上手く決められるので今回も自信はありましたが、

その後は苦しい展開でした。チームとしては今日、大湯選手のフリー走行でのペースが良く、若干スピードを取り戻した感があるのでいいところはあったと思います。ただ64号車としてはずっとアベレージが遅かったです。良かったところはなく、逆に悪くなるような要素もなかったのですが、そこに何かヒントがあるのかもしれないので、これから調べていきます。「また次」と言えるレースが少なくなっていますが、なんとか自信をゼロにせず、ここを持ちこたえて這い上がりたい。チームのみんなも一生懸命やってくれているので、一戦でも早くそれに応えたいです」

#65 : 大湯 都史樹

「フリー走行での感触は悪くありませんでした。ただその理由というのか、答えがまだはっきりしていないので、次のSUGO大会でも同じように調子が戻るのかは安易にコメントできません。とはいえ、いい兆し、感触を得たので、そのデータをきっかけに、これから車を持ち帰っていろいろな検証をしていきます。それを経て、「これかもしれない」というものが見つければ、SUGOに向けてまた新たなアイデアも出てくるかもしれません。決勝レースはスタート直後の3ワイドになったところで前に出ようとして、ダスティなところに乗ってしまいました。フリー走行で感じた兆しをもう少し掴むために、しっかりと走りたかったので残念ですが、今の課題を何とか打開する、そのヒントになりそうな今日だったので、予選日ほどネガティブにはなっていません。昨年のレベルぐらいに戻ったのかなという印象もあるので、これから検証して、次に向けたヒントが得られたらと思っています」

※次戦は6月18日・19日にスポーツランドSUGOで行なわれます。